

【アジア夢カレッジ】

2年

人生の生き方についての話など、多くの貴重な話を聞いて、とても為になりました。自分について、数時間も考えることは少なかったのですが、考えれば考えるほど今まで気づかなかった点がたくさん出てきて、自分でも驚きました。また、何をやるにしても、何の目的があってやるのか、など意外とわかっていることであっても見落とししている部分があることに気づきました。知夏さんの話を聞いて、自分のやりたいということ、学生時代から今現在まで続けていることにすごいと思いました。目標を成し遂げるためには、世界に行っても、やり続けるという意識が、自分にとっても刺激になりました。

2年

今回の講義で、大学生活の中でどんな人になるためにどんなことができるのか考えることができました。なりたい自分はたくさんあったのですが、今の自分はマイナスな性格しか上げることができませんでした。長所は思いつかなくても短所はたくさん出てくるところにつながると思いました。就職活動のためにも、理想の自分になれるように努力して、長所を増やしていきたいと考えました。また、講師の方がハキハキとした話し方で、説明も端的でわかりやすく、また自分のやりたいことがなんなのか理解してチャレンジしているところに感銘を受けました。私も目標ややりたいことをもって大学生活を充実させるように努力していきたいと思いました。

2年

自分に関するマップを作ってみて、自分が関心のあることに気づけた。自分の関心があることは何かを考えた時に、今までは、中国や法律など自分が今学んでいることからの関心しか思いつかなかったが、今回のワークを通じてアニメやスイーツなど自分の趣味から関心があることを見つけることができた。

自分を表す形容詞はたくさん思いついたが、なりたい自分を表す形容詞がなかなか思いつかなかった。自分にあこがれの人がいるのだが、その人のあこがれている点が漠然としていてなかなか形容詞で表せなかった。

スティーブ・ジョブズの動画を見て、無駄な経験などないのだと実感した。私は、今まで、自分が将来したいことに関係のないと思ったことはやらないことが多かったが、スティーブ・ジョブズの話や知夏さんの話を聞いて、関係あるかどうかではなくて関心があるかどうかで事柄に取り組んでいこうと思った。

2年

本日はこのような特別講座を開いていただきありがとうございました。

自分を表す形容詞、マインドマッピングから始まり、何も考えずにやってみた結果、それが自分の将来に繋がってくると知りとても面白かったです。自分のやりたいに忠実になる。計画性をもってやろうとして、結果やることが少なくなるなら、思い立ったらやってみた方が振り返った時にあるものが多いという所にすごく納得し、教授の生き方はこういうマインドからきてるのかと感じました。スティーブ・ジョブズのconnecting dotの話は正しくそれに繋がってみて、自分もとりあえずやってみようとして一歩踏み出す勇気が貰えました。また、「明日何したい？」と最後に聞かれた際、すごくハッとしました。全く思い付かず、このワクワクがないのは人生勿体なくさせるなど感じました。毎日をワクワクさせるためにも楽しむアンテナを張り続け常にどんな事にも興味を持って全力で楽しんで取り組んでいこうと思えました。

貴重なお時間をありがとうございました。

2年

今回の講義で自分の中にあった卒業後のキャリアや進路についての考え方が大きく変わりました。特に講師の方がダンスと国際的な仕事どちらかに絞らなくてもよい、なりたい自分に近づくのが大事で回り道をすることもあるのだとおっしゃっていたのが印象的でした。私は興味が一つではない場合どのようにやりたいことを実現するのが悩んでいたのですが、なんだか過程、理想の計画にこだわりすぎていたということに気づいて少し気持ちが楽になりました。自分の選んだ選択が自分の最初の完璧だと感じていた選択と違って自信が持てずにいたのですが、必ずしも行動がなりたい自分につながるかは今は分からないのが当たり前だと考えられるようになりたいと感じました。

2年

本講義は実際に世界で活躍しているお二方の経歴や問いかけを聞いた貴重な時間でした。授業内で考えた今の自分を表す形容詞やなりたい自分像は自分のことを知ろうとする良い機会になったし、自分のことは自分じゃあまりわからないということにも気づかされました。知夏氏がやりたいことは二つあって答えを出すことに迷うというお話をされていました。きっと自分も将来のことを考えると必ずぶつかる壁になると思います。そこで自分の方針の参考として今一度、日ごろ行っている事や考えていることは何か認識することが大事だと感じました。将来という遠いものではなく明日やり

たいことについて考えたことで、将来の自分を作っていくのは日々の習慣なのだと気づかされました。

【国際関係学部多文化コミュニケーション学科】

3年

今日の講義を通して、自分はまだ将来どうしたいか何の仕事をしたいかということが明確に定まっていないので、自分のやりたいことが何であるのかも自分自身でわかっていなかった。しかし、自分とはというグラフを作ったときに以外にも好きなものや興味のあるものをすらすらと書くことができ、自分の興味のあるものをはっきりとわかることができた。それから、「自分の性格を形容詞で表す」というのはかけそうで全く思いつかなかった。自分がどんな人であるのかをもっと考えて理解することが自分には必要だと感じた。しかし、「どんな人になりたいか」というのは書くことができた。自分の新しい部分や自分では気が付くことのできないことを発見することができて、とても良い時間になったと思う。これから就活を始める中で、二名の話の聞いていると、自分が考えていたことが狭い小さいなと感じた。人生は大きく視野を広げて考えることが大切であると思った。大学生活は残り一年と少しだが、後悔の無いように「明日何しよう？」と常に心掛けながら、やるべきことややりたいことにはたくさんチャレンジしたいと思った。

4年

今日の講演を聴いて感じたことは、今が一番若いということである。わたしは将来やりたいことが大学一年の時に見つかって、今もその姿になるために日々努力をしている最中なのだが、お話を聞いて、あまり先のことを考えずに今を生きることも素晴らしいことだなと感じた。私は先のことを意識することも重要であると感じているが、先を意識しすぎて苦しくなるときがある。未来のことは考えてもわからないから、自分にできることは今をちゃんと生きることしかないんだなと感じた。そして未来で connecting dots を実感したときに今がいい時間であったと思えるように充実した日々を過ごしたいと思う。

4年

キャリアガイダンスの授業ではいつも自分がやりたいことは何か？とばかり聞かれることが多いのでやりたいことよりまずなりたい人を形容詞で考えた方がいいというア

ドバイスが新鮮でとてもためになった。そしてそのなりたい自分像というものは何年経ってもあまり変わらないと教えて頂き、マイナスなことは書かないから正しくそうだなと思った。私はあまり考えずすぐ強いと優しいが出てきたのでこの2つを特に大切にしていきたいと思った。将来なりたい自分があまり変わらないでいるためにも自分軸をしっかり持ち過ごしていきたいと強く感じた。

4年

知夏さんの「心踊る生き方を考える」という講義を聞いて、タイトルの通り知夏さんが今まで自分のやりたいことと思える様々なことに挑戦し続けている様子が印象に残りました。自分も進路に悩んだ際に複数やりたいことがあってどの道に進むのが良いのか分からなく行き詰ってしまう時期がありました。けれど、知夏さんがエンターテイメントと国際協力の双方に興味があり、どちらも含め多くの活動を行ってきたように必ずしも一つの道に絞らなくてはならないなんてことはないんだと新しい気づきを頂くことができたとても良いきっかけになりました。また、ミスコンに参加した際に各国から1人ずつ選出しているためあくまで皆戦うライバルであるのにも関わらず、食事など様々な面でお互いに助け合って過ごしたという話を聞いて、素敵であると感じるとともに、そういう国を越えて助け合うという機会を大切にしていけるべきであると感じた。

4年

外部講師の講義は私にとって非常に興味深く、有意義な講義だと思う。講師はまず、自分のことを話すのではなく、自分はどんな人間で、何が好きなのか」を紙にキーワードを書き出しながら聞いてきた。自分についての知識と理解を深めた後、講師は自分についてのエピソードや人生経験を話してくれた。私たちと同じ年の大学時代、何に挑戦し、何を学び、どう生きたいのか。彼女の話を知っているうちに、当初の不安は次第に解消されていった。自分の中でこれからのことを考え、将来への期待も持てた。インストラクターに負けなくらいダンスが好きだし、もっとやってみたい、体験してみたい、感じてみたいと思う。

3年

今やりたいことをやることの大切さを身に染みて感じた。物事が未来に繋がっていると思うとどんな出来事も無駄ではないのだと思う。私は三年生で、就活真っ只中で様々な物事を将来役に立つかで判断してしまっていることに気が付いた。やりたいこ

と始めてみたいこともやはり将来意味がないと思うと、どうしても一步引いてしま
う。だから知夏さんのお話や、知夏さんが見せてくださってスティーブ・ジョブズの
スピーチを聞いてその時の感情を大切にしたいと感じた。将来年を取ったらどんなこ
とも自分の力や経験に繋がっていると思った。自分が今どうしたいのかきちんと耳を
傾けて生きていきたい。

3年

多岐にわたって活躍している知夏さんにも、やりたいことが1つに決まらない・進路
が決まらないという、まさに今の私が抱えている悩みを抱えていた時期があったと聞
き、少し親近感が湧きました。そしてこの悩みは他の多くの学生も抱えていると気付
き自分だけではないと安心しました。自分を始めとした連想ゲームや、自分を形容
詞で表す・なりたい自分を形容詞で表すという活動で自分と向き合うことができました。
なりたい理想像を形容詞で考えたとき、知夏さんが、この形容詞はこれまでもこ
れからもあまり変わらないと仰っていたことが印象に残っています。これからの自分
の行動や考え方の軸にしていこうと思いました。また、スティーブジョブスの言葉
も心に響きました。自分の興味に向き合っって色んなことに挑戦したい気持ちになりま
した。素敵なお話をありがとうございました。

3年

私は就活をしている中で、自分のやりたい仕事を探すことに苦労していました。好き
なことやなりたい姿は考えられていたのですが、それを仕事として考えるとなかなか
やりたいと思えるものが見つかりません。今回の講義を聞いて、自分の好きなことや
これからやってみたいことをさらに増やして、様々な世界に対して興味の窓口を多く
持っていたいと思えるようになりました。今はやりたい仕事を模索している最中ですが、
今回感じたことを大事にしながらこれからも就活を続けていきたいと思いまし
た。また、どんなことも決して無駄にはならないということも学びました。「出来なさ
そうだから」や「大変そうだから」とやる前から可能性をつぶすのはもったいないこ
とです。どんなこともいつか意味のあるものになると考えて、果敢にチャレンジして
いきたいと思います。

3年

今回の講義で印象に残っている内容は、右往左往しながら何でもすることで、理想の
人物像に近づくことができたということである。講師の方の体験談から、自分の理想

としている人物像に少しでも近づくために、自分の活動幅を狭くするのではなく、自分の興味・関心のあることに貪欲に生きることで、自ずと理想としていた自分になることができる。とあって、就職活動をしている私にとってとても響く内容であると感じた。私は、人のお役に立ちたいという軸をもって就職活動をしているが、人のお役に立つ＝接客業と枠を狭めて考えるのではなく、とりあえず興味あるような業界を複数見ることで、自分が思う人のお役に立つという理想に近づけるのではないかと感じた。自分を知ることで、気づかなかった新しい発見につながると今回の講義で感じることができたので、興味関心の気持ちを忘れず、生活していきたいと考える。

3年

今回の講義を聞いて「働く」ことについての考え方が大きく変わった。最も印象に残った部分として、「なりたい人>やりたいこと」という考えである。日本人は、高校や大学を卒業したら、企業に入ってお金を稼ぐことが普通になっているが、そのために考えても簡単に見つかるはずのないことを深く考えて就職活動や、企業に入る必要はないのかもしれないと思った。働くことの本質について考えた時に、「働く」は理想の自分に近づくためのツールであるということに気づくことができた。自分がやりたいことを追いかけて、理想の自分、自分を昨日よりも好きになれるように気楽に、楽しく生きていくことが、「心踊る生き方」だと感じた。私自身、卒業後のキャリアについて「目的を明確にしなくてはいけない」という焦りがあったので、このようなお話を聞くことができて、とても良かった。

3年

留学によって日本を外から見て、日本の良い所と悪い所を知ることができるという考えを聞いて、そのような見方もあることに驚いた。外国に行き、カルチャーショックを受けることで、外国との違いの中でよりよい物事や文化、価値観、習慣に気づくことができるのだろうと考えた。また、自分が何が好きか書き出すのは、将来それを仕事にしたいわけではないため、億劫に感じ、自分がどんな人であるかを書き出すのにもマイナスな表現しか思いつかず、理想像を思い描いて言葉で表すことにも時間を要したが、授業の終わりごろには、自分で納得のいく理想像を言葉で表すことができ、就活の面接で今日得たアイデアを是非活用したいと思う。

3年

自分を形容詞で表した時、ネガティブな形容詞ばかり並んでしまったが、理想の自分についてでは、ポジティブな形容詞がたくさん並び、この自分にはどのようにしてなれるのかと、ネガティブになりかけたが、講師の方も、理想の自分にはまだなれていないため、追いつけていると仰っており、志を忘れないことが輝く秘訣だと感じた。お金よりも経験を増やすというお話をされていたが、その価値観は人それぞれにしろ、経験することに恐れてはいけないことを痛感した。国際関係のお仕事は儲かるかを問われると前向きなことを言えないのが現状で、将来の人材の層は薄いことが感じられたため、政府からのより良い支援や私たちが少しでも活動に参加することが必要だと感じた。私は就職活動をする中で、考えただけでネガティブになってしまってしまうことが多くあるが、人生経験を増やしている自分のためだと思って、挑戦する気持ちを忘れないようにしたいと感じた。

3年

今回の特別講義を受け現在の自分はどのような人間であるのか、そして自分はどのような人間になりたいのかを考えた中でなりたい自分になるための行動や環境に身を置くことが必要であると思った。知夏さんはまずは明日何をしたいのかを考えてみようとおっしゃっており、1日1日がこれからの自分を構築していくのだなと感じた。

千夏さんのお金を稼ぐことはあまり気にせずその時にまさに心躍る方に進んできたことにとっても共感を持っていて僕は一度きりの人生は常に色々なものにチャレンジしていきたいと思っているため千夏さんのこれまでの人生にとっても憧れを持ちました。

色々チャレンジ位していく中でなりたい自分に近づけていきたいです。

3年

特別講義を通して知夏さんは行動力があり、様々なことに挑戦されている方だとわかり、まさに「心躍る生き方」をしている方だと感じた。また、講義の中で紹介されたスティーブ・ジョブズの“Connecting the dots”の話がとても印象深かった。私は今就職活動を始めたところで将来のことを考える機会が多く、考えれば考えるほど不安になることがある。しかし、スティーブ・ジョブズの言葉を聞き、将来のことはその時にならないとわからないため、今自分がやりたいと思うことや、直感を信じ、気の向くままに行動するのが大切だと感じた。スティーブ・ジョブズの言葉や、知夏さんの話を聞いたことでとても励まされた。そして、自分がなりたい姿をイメージするこ

とも大切だと思った。講義の中で形容詞を書き出したように、自分がなりたい姿を想像することで何か見えてくるかもしれないと感じた。

3年

今回の講義で印象的だったのは、スティーブ・ジョブズの卒業式でのスピーチです。スティーブ・ジョブズのスピーチで、「将来を見据えて点と点を結ぶことはできず、後で振り返った時にしか結びつけることができない。だから点と点が将来結びつくことを信じなければいけない」というような言葉がとても印象的でした。今まで勉強していることでこれはいつ役に立つのだろうと思う場面が多々あった。しかし、今回のスピーチを聞いたことで、もしかしたら将来どこかで役に立つのかもしれないと思うことができました。また、私は何か行動を起こす際に後ろ向きに考えてしまうことが多いのですが、このように考えることで、もしかしたらこの経験が将来何かと結びつくかもと考えると、今までよりも前向きな気持ちで行動を起こせるかもしれないと思った。

3年

今まで将来何がやりたいかはっきりせず、それなのに近づいてくる就活がとても嫌だった。しかし、今回の授業を受け自分がどんな人になりたいのかを可視化したことで、これに沿った将来を考えることができた。私は好きなことに対して熱しやすく冷めやすいことが短所だと思っていた。好きなことでもすぐに飽きてしまうことが嫌だったが、プラスに考えると短期間で情報を集め、自分の知識の糧としていけると考えなおすことができた。また、これらは小さな点でしかなく今は線としてつなげないが、将来に振り返ったとき線として役に立っていたらいいなと前向きに考えることができた。これを通して、これからも好きなことにはどんどん首を突っ込んでいこうと思う

3年

私は、今3年生なので自分の将来を考える機会が多いのですが、就きたい職業を1つに決められずにいました。また、自分がどんな人間になりたいかという像もはっきりしていなかったです。しかし、今回の授業では自分を見つめなおす時間があり、どんな人間になりたいのかなんとなく決めることができました。外部講師の方の経歴がすごすぎたので自分には当てはまらないと感じましたが、自分のやりたいことは何度でも変えていいし、何度でも挑戦できるのだと知れたことは学びのあることでした。

これからの就職活動で今回の授業を活かせると感じました。ありがとうございました。

3年

今回の講義で、好きなことを仕事にすることの楽しさを教えてもらいました。私は今大学三年生で、もうすぐ就職活動を始めなければならないという時期です。私も自分の好きな分野で働きたいと思っていたが、休みの取りやすさや収入に関して調べ始めたときに、迷いが出ていたところでした。だが、講義を聞いて、私には「好き」を突き詰める作業ができていなかったのだと分かりました。自分の中で何が一番好きなのか、大切なのかをもっと理解し、就職活動に活かしていきたいと思います。普段中々聞くことの出来ない貴重な話を聞いて良かったです。ありがとうございました。

3年

知夏さんの話を聞いて1番感じたことは何事もまずは行動する事だということです。私は知夏さんのように美人にはなれないし、サルサも踊れません。でも美人になるために健康や美容の意識を高めたりメイクやファッションを勉強することはできます。サルサを踊れるようになるために動画を見たり教室に通うことはできます。今すぐに出来なくてもいいからまずは行動し壁を乗り越えようとする事が大事だと思いました。自分には何があるのか、どのような人なのか裏紙に書き関連つけることは、自己分析に繋がり、これから始まる就活にすごく役立ちそうだなと感じました。また、自己分析では私の周りには支えてくれる人が大変多くいる事に気づきました。家族や学校の親友、サークルの友達、バイト先の方、地元の友達。今の私が存在するのは周りの方々の支えがあってこそだなと強く感じました。この機会に感謝の気持ちを伝えたいと思います。そしてこの授業をバネに明日から沢山のことに挑戦したいと思いました。

3年

自分のやりたいことをする道に進もうという決心がつくお話で、刺激的で本当に心躍るパワフルな講義でした。金銭面での不安や周りとは違う道に進む不安があったのですが、知夏さんが自分の人生を楽しそうに話す姿を見て、お金は重要じゃく自分の好きなことをするほうが大事なのではないかと感じたし、知夏さんのように生きたいと私も感じました。自分の頭の中を整理することで、自分を構成するものは何かを明確にすることもできました。また、自分を表す形容詞を紙に書いて考えることで、自分

の長所短所、なりたい自分を改めて知ることができました。自分に足りないものは行動力と社交性、経験だと分かったので、人と関わる場に行ってみたり、バイトではなく全部自分で成し遂げてお金を稼いでみたりと、新しい経験をしていきたいと思います。

3年

今回の講義内で、留学に行つて欲しいと言っていたのがとても印象に残つた。私は来年留学に行く予定があるが、言語学習が停滞していたり、なかなかモチベーションがなかつたりして、このまま留学に行つていいのか、私は行くべきなのか悩んでいた。しかし、今回の講義で、学生の中に留学に行くべきであると聞いて、自信を持つことが出来た。私は踊ることが好きで、また、海外に行くことや、言語を学ぶことも好きで、講師の方と境遇が似ていた部分もあったので、より留学への意欲が戻つてきた。また、チャートを使って自分自身を振り返ったり、なりたい自分のビジョンを明確化することで、自分について新しい発見をすることができ、課題も見つけることができたため、とても有意義な講義だった。

3年

今回の講義で最も印象に残つたのは、講師の方の国際交流の広さである。私たち国際関係学部の学生は、多かれ少なかれ国際交流に興味を持っていて、私にとっては特にそれに伴つた講師の方の英語力にもとても驚いた。そしてそこからくる体験談に基づいた、私たち学生に向けての将来に関するアドバイスはとても的確であつた。なにより、多くの外国人と共に過ごしてきたからなのか、講師の方の価値観はとても多様性に富んでいるように感じた。一つの国の価値観だけではなく、いろいろな人の環境や価値観に触れてきているからこそ、あれだけ広い視野の考えに至れるのだと、強く感心した。国際人を目指すものとして、一つの価値観にとらわれず、広く社会を見る力を備えたいと改めて思わせてくれた105分であつた。

3年

いてとても考えさせられました。また好きなものの数は将来の可能性ではないかと思つたので残りの大学生活では勉学を卒業するためにするのではなく自分が興味を持ったことや心が躍るものについて本を読んだり関連する講義を受講したりと直接将来に役に立つのかを考えず楽しんで学び自分の好きを深く広げていこうと思ひました。ま

た自分になりたい形容詞の人物像に近づくために課題を先送りせず余裕を持って取り組むために計画を立てていこうと思いました。

3年

今回の授業で感じたことは、作成したマインドマップから自分が興味のあることやアイデンティティを明確化した事で、これまでの人生や今後の人生でのやりたいことがわかった。知夏さんは自分の興味ある事を例え儲からなくても仕事として行うための方法を考えて世界に飛び出していた。私は中々そのような考えを持たず、実際に行動に移すことは出来ていないが、現在行なっている就職活動でも自分のやりたいことを軸に持ち、妥協をする所と絶対に譲らない所を持ちたいと思った。自分の夢を実現するためにも今後の学生生活を大切に過ごしていきたいと考えた。

3年

知夏先生のように、わたしも同じく踊ることが好きで、世界のことにも興味があります。ダンス×国際的なお仕事、これができるれば最高だけれど、現実そうもいかないかなど思ったりして、就活をしなければいけない今悩んでいました。講義の中で、マインドマップや自分のなりたい姿を形容詞で表すなどといったワークがあり、どれもすごく面白くて、改めて自分の見つめなおすいい機会でした。「今やりたいこと」は沢山あるけれど、お仕事としてどんなことをしたいかと言われても中々思い浮かばない。そんな状況でしたが、今回知夏先生から「なりたい姿」にフォーカスすることの大切さを教わりました。知夏先生が、身をもって経験されたからこそ、そのお話に重みがあり、聞き入ってしまう興味深い講義でした。「働くことは、自分が自分のなりたい姿になるためのプロセスでしかない」という言葉にはすごく救われたような気がします。「なりたい姿」になるために、人生を一生懸命生きて楽しみたいです。今回やったワークは、定期的に行って今の自分となりたい自分としっかり向き合います。ダンスでも、国際的なお仕事でも、どこかで知夏先生とご一緒出来たらうれしいなと思っています。

3年

わたしも、小さい頃からダンスを習っているため、今回の講義は、とても興味深かった。将来やりたいところが決まっていないわたしにとって、将来に繋がるはなしは、とても考えさせられた。自分に関連づけて、自分にはどんないいところがあるのか。普段考えないことなので、探してみると、とても難しかった。しかし、就職活動するに

あたって、自分の強みを知ることは、良いことであると思った。ちなつさんの活躍は、とても尊敬した。自分が楽しいと思うことを、職にし、世界を通して視野を広げている姿に、わたしも多様な生き方をしたいと思った。わたしも元々、友達を増やすことやコミュニケーションをとることが好きだ。だからこそ、友達をこれからもたくさん増やし、自分のチャンスを広げられたらと思った。

3年

今回の特別講義「心躍る生き方を考える」を受けて、まず一人で行動することは自分の自信や度胸がつくということに改めて実感しました。また知夏さんの講義を受けて、始めに今の自分の構成を数珠繋ぎで書いたことや、自分を表す形容詞、“なりたい自分象”を表す形容詞を考えて書き出したことは凄く新鮮であり、自分を分析して見つめ直すきっかけになりました。知夏さんのような生き方に心を押されました。誰一人として同じ生き方は無いですが、行動しないで後悔するより、行動しなかったことを後悔する方が辛いと思うので、自分なりに良い生き方をしていきたいと思いました。今の自分の経験や行動などの「点」が、未来ではじめて「線」となって繋がっていくという言葉は、現在の自分にとって非常に心強く感じました。

3年

白い紙に自分の思いついた興味のあることを書き出して、さらに思いついたことを枝分かれにして書いていくという方法は、大谷選手がやっていた方法でもあったので、講師の方が大谷選手と同じく海外に目を向けていて、外交的である理由はこの考え方にあるのかなと感じた。自分は沢山の物事に興味を持つことが多く、趣味などでも手を付け始めた後、中途半端に終わってしまうことが多かったため、興味を持っても行動には移さないようになってきた。しかし、今回のお話を聞いて、沢山の物事に興味を持つことは自分の人生設計を豊かにできる点や、実際に行動し経験することが大切であることを学んだ。

3年

私自身一人で行動することが得意ではないのですが、お話の中に一人で行動することの大切さがあることを学びました。一人で行動することのメリットはないと思っていましたが、一人で海外旅行に行くことで、現地の人と多く関わってみると言うお話は私自身もぜひ一人で海外旅行をしてみたいと思えるお話でした。また、自分から枝分かれをさせて自分について考える時間では、自分が思っていたよりも広がって楽しか

ったです。自分を言葉で表したり、なりたい人を言語化したりする機会はあまりなかったので新鮮で自分を考えることができ、貴重な時間でした。最後に見たスティーブ・ジョブズのスピーチはとても印象的でした。学校を辞めていなかったら、文字の授業は受けていないし、文字の授業を受けていなかったら、今あるパソコンの字体はなかったと考えると、全て繋がっていると感じました。また繋がりも、未来を見据えて今の行動をするのではなく、振り返ってみると実際繋がっていると言う考え方はなかったのが納得するとともに、今自分がやりたいことをやることの大切さを学びました。私も未来が心配でこれをしたなら将来役にたつと思って行動することがあります。もちろんそれで行動を起こすことはとても重要だと思いますが、それよりも自分がやりたいことをやる方がもっと重要であると今回の授業で学びました。これからは、将来どうなるかよりも、今自分が何をやりたいのかの方を優先して考えていきたいと感じました。

3年

特別講義を通して、自分自身について考えることができた。これから本格的な就活が控えている中で、自分の本当にやりたいことは何か、自分は何が好きなのかについてはよく考えることがあったが、自分はどんな人間なのか、また自分はどんな人になりたいのかを形容詞を使って表現していくことが自分にとっては初めての経験でとても面白かった。自分ってどんな人間なのかを客観的に考えることは難しかったが、友達からの助言を聞いてみたり、自分自身について深く考える時間をもらえて、とても良かったと思う。自分がどんな人間になりたいのか、将来の自分が振り返った時に後悔しないようにするためにはとてもいいアクティビティであったし、自分の将来を考えやすくなった講義だった。ほかの講義でも、スティーブジョブズの Connected dots について話している講師の方も多く、やはりいろいろな経験を積むことが将来の自分につながる可能性があるんだなとより一層強く感じ、自分が興味のあることにはまず挑戦してみる勇気が大切だなと考えさせられた。

3年

私は就職活動に向けて企業研究や業界研究を進めているが、自分が何をしたいのか将来どのような姿になりたいのかがはっきりしておらず、悩んでいる。今回の講義で自分のやりたいことはまだ見つかっていないが、自分のことについて考えることはできたと思う。「自分を表す形容詞」「なりたい自分像を表す形容詞」など、一見簡単そうに見えるが実際にやってみると形容詞縛りであることから難しかった。まずは自

分について考え、そこからどのような形容詞が当てはまるのかというようにじっくりと考えなければ答えが見つからないと感じた。自分とはどのような人間でどのような人間になりたいと思っているのか、普段考えないからこそ疑問や悩みに向き合い自分を探していったと思う。連想ゲームも自分の興味関心を掘り下げる、また振り返られる機会であり自己分析の際によく行っている。自分の人生を思い返しながらか成することができ、自分史を作りながらか成することができると思った。自分の興味関心事が何なのかわからなくなったときに行うとはっきりしていくと考える。人生の先輩方のアドバイスや経験談を聞くことで、自分の選択肢が広がり広い視野で考えることができるようになるのと同時に、刺激を受ける良い機会になった。社会人になる準備段階では様々な不安や疑問があるため、このような機会を頂けて自分にとって有意義な時間となった。

3年

今回の講義では、外部講師の方から「心躍る生き方を考える」というテーマの演説を聴いた。講義内では、まず、私を中心としてどんなワードが連想されてくるかの樹形図を書いた。樹形図を書き出してみたら、私に関連するワードが意外と多く出てきて驚いた。その後はスティーブ・ジョブズが大学の卒業式に登場したときに読んだとされている伝説のスピーチの一部の映像を視聴した。私は、スティーブ・ジョブズがとても頭が良いイメージを持っていたため有名な大学を出ているのかと思っていたら、大学を出ていないということに驚いた。講義の終盤では、講師の方から明日、なにをしたいですかという質問に答えるという時間があった。私は時間を上手く使えるようになるを書いた。講義を受けた感想は、講師の方のおかげでこれから生きていく中でどのようにすれば明るく生きていけるかを考えることができ、とても自分のためになる講義だったと感じた。

3年

外部講師による『心躍る生き方を考える』を受けて、自分の好きなことが何なのかを理解し、それを思い切り楽しみながら追及することが、今大学生である私たちにとって大切であり、その経験が将来の自分と繋がることを学んだ。講義内でスティーブ・ジョブズのスピーチが用いられ、その中で「昔は自分が興味を持ったこと、楽しいことを勉強してはただけだが、それがPCを作るうえで重要なアイデアになり、成功を遂げた。点と点は後から線になるものである。」という内容が印象に残っている。将来役に立ちそうだから嫌々勉強する必要はなくて、私たちは沢山のことに興味を持ち、疑

間を持ち、それを楽しむことが重要である。無数に打った点が将来繋がることを信じて、今一生懸命になれることを追及していきたい。

3年

知夏さんの講義に参加したことは、これからの就職や人生において大変ためになる機会になり、さらに学生時代に留学を経験している私にとって知夏さんのような海外経験の豊富な方のお話は自分の興味とマッチして聞きやすかった。「将来を見据えて点と点を結びつけることはできないし、後になって振り返ったときにしか点と点は結べない、だからこそ将来に点と点が結びつくことを信じなくてはならない」という知夏さんの言葉から、自分の直観や運命や縁を信じて、今を一步ずつ進んでいかなければならないのだということを学べた。その経験や覚悟は自分を強くするために必要なことであり、時間がある大学生のうちに人生に勇気を持つことができればこれから何にだってなることができると希望を持てるように感じた。そこで今回の講義の質問としては、海外事業として海外へ仕事をしに行った際に、使えるスキルや資格はあるのでしょうか。

3年

仕事はあくまで理想像を叶える手段でしかないという考えは斬新で、将来人生を振り返って見たときにより満足度を感じられそうだなと思った。人生に目標があるかないかで日々の充実度はかなり左右されると考える。仕事が目的になっていると仕事に目標が持てなければモチベーションも上がらない。そのときは仕事に一生懸命になっても後から振り返ったときにいったい自分はいままで何をしていたのか分からなくなる。だが、生涯の目標があれば自分の道を見失うこともなくなるし、その過程でこなしたことが結果的に将来に繋がらなくてもその行為自体は自分の興味・関心から生まれたものであるから楽しい時間であり充実している。自分の興味・関心の点を散らして置いて、いつか繋がって線になるだろうと信じて自分の気持ちに素直に生きて見るもの楽しそうだと考えた。

3年

今回の特別講義「心踊る生き方を考える」を聞いて、共感できたところがいっぱいある。まず、自分も留学生として、日本で生活しているので、木村さんが述べた海外留学の意義は十分感じていると思っている。私も日本で異文化交流をされていて、1人で行動していて、自信や度胸もつけて来たと感じている。また、知夏さんから自分の興

味や性格に関する形容詞を書かせて、なかなか自分に合うことばを思い出せなくて、自分のことがよくわかってないと思った。これから、勉強しながら、友達と話しながら、自分を知って行きたいと考えている。

3年

本日の授業を聞いて心から興味を持ち、情熱を注げる活動や趣味を見つけ、自分が楽しんで行うことは、生活に深みと喜びをもたらすと考える。小さな目標でも自分にとって意味のある目標を設定し、それに向かって努力する。私は大学院に進学するため、まず毎日、本を読んで専門知識を身に付けており、常に新しい知識やスキルを取り入れることで、人生がより豊かになる。困難な状況にも前向きな姿勢で直面する。また、身体的な健康も重要である。バランスの取れた食事、適切な運動、十分な睡眠など、健康的な生活習慣を身につけることが不可欠である。

3年

私は挑戦する前に、挑戦した後のことを考えてしまうことが多くて、結局挑戦しないで終わることがよくあります。そして、時々挑戦すれば良かったと後悔することもあります。なので、今回の講義を聞いて、とにかく挑戦してみることが大切だということがよくわかりました。挑戦したことが、いつか何かに繋がるかもしれないし、どこかで役に立つかもしれないので、思い切って挑戦してみようかなと思いました。私は、知夏さんのようにやりたいことがはっきり決まっているわけではないし、正直いまはやりたいと思うことも特になのですが、もしいつかパッと思い浮かんだときは、積極的になろうと思いました。なりたい自分像になれるように頑張りたいです。

3年

今回の講義は、自分の大学卒業後の進路について改めて考える機会になった。私は、自分の好きなことを仕事にすると、好きなことを嫌いになってしまうと思っているため、自分の好きなことを仕事にした知夏さんのキャリアにとっても関心を持った。私は、知夏さんのように将来の夢や目標がなかったため、自分のキャリアについてもあまり考えていなかった。しかし、本講義で自分の好きなことに限らず、将来なりたい自分像を考えることで、仕事についても考えることができた。職業に結びつけられる夢はないが、こんな大人になりたいという夢ならあるということに気づくことができた。今回の講義で、自分は将来のことを難しく考えすぎていたのだと思った。知夏さんの講義を受けたことで、自分の将来についてより明確に考えられるようになった。

3年

私はこの講義を通して、自分のなりたい将来の姿に対して、今1度、考え直す必要があると考えました。その中で、自分のなりたい姿を明確に形容詞を通して考える際に、今まで自身の就職活動にて、自己分析を行っていたが、より明確化され将来を思い描くことができました。また、自分の周りを取り巻く環境や趣味などから考えを進めていく必要があった。そこから考えると、私は人の事を幸せにできるような将来を思い描いており、そのために必要な物は今たまたま明確となっていないが確実に考え勧めることができたと考えました。私がいま持っている考えは何事にも積極的に挑戦していきたいという思いです。来年度学友会の中で様々な活動を行う予定で、これが今後の自分に生きるように使っていきたいと思います。

3年

今回の授業で自分の中で何がアイデンティティーとしてあるかを学んだ。例えば、人間関係を再確認することで、自分の周りにはどのような友人が多いかなどを図としてみることができた。また、その中には自分が就職をするときにヒントになるようなこともあった。現在、私は就職活動に取り組んでいる。今年、亜細亜大学に3年次編入学した私には、就職活動をいきなり行うには難しかった。自分の特徴や強み、弱みを理解するのは意外にも時間がかかる。しかし、この授業で図や文字に起こすことで通して自分の特徴が少し客観的に見ることができた。

2年

私が今回の講義を聞いて考えたことは、自分の就いた職業に対して、自信を持ち楽しくその仕事をする事の大切さである。私は今回の講義を聞く前は、やはり仕事とはやらなければならないことという義務感のイメージが強かった。しかし、知夏さんの活動を楽しくやっている姿を見てどんなことであっても自分にとって楽しくワクワクする気持ちを持って取り組む事の大切さに気づいた。今回の講義の知夏さんの姿も常に笑顔でとても楽しそうだったのが1番印象に残っている。日本人は仕事に対する満足度が低そうなイメージがあり、調べてみると日本人の「仕事満足度」は5%と世界と比べてみても低い水準であるという。これらから、私は来年3年生になり本格的に就職活動が始まる。まだ、自分がやりたいことがはっきりと決まっていないが自分の仕事にやりがいを感じ、楽しく挑戦できるような企業を選択したいと思った。

2年

自分は好きなことや興味があることがたくさんあるが、まだ進路が明確に決まっていない。今回の講義で、マインドマップを書いてみたり、講師の方のマインドマップを見て、様々な好きなことや興味があることがあってよいということに気づいた。好きなことを仕事にして楽しんでいる姿を見て、好きなことを仕事にすることも面白いなと思った。自分について考える機会があまりなかったので、形容詞で表すことによって、自分について知るきっかけになったし、自分に足りないことや、なりたいことなども知ることができてよかった。これからの就活に役立てるために、もっと自分のことについて知っていこうと思った。

2年

今回の講義である、「心踊る生き方を考える」という講義を受けて改めて自分はどのような人間なのか、どういう目標を持って日々生活しているのかを考えさせられる講義だったと思いました。最初に自分について書き出した時に自分から派生する興味のあるものなどがスラスラ書くことができず、講義の方が実際に書き出したものを見た時にそれぞれがいろんなものに繋がっていて自分のものとは大きな違いがありました。また、自分のなりたい人については沢山の形容詞を書くことができ、改めて自分に何が不足しているのか目に見えて分かることができました。講義の方の言葉はとてもはっきりしていて自分に自身があるように感じました。私もそのような、自分に自信を持てるような人間になれるようもう一度自分について分析したいと考えました。

2年

本日の講義を聞いて改めて自分がどんな人を理想としているのかがわかった。というのも今まで自分を真ん中に書きそこから興味のあること好きなことを書くことは何度もやってきており、そのたびに自分の好きなものを書いたとしても何もそこから生まれなかった。今回も同様に何も浮かばずがっかりしていると、形容詞で今の自分と自分の理想を書いてくださいと言われ挑戦してみた。すると将来にはつながらないにしても自分がどんな形容詞の人を理想としているかが見えた。結局それで将来自分がどんな仕事をしたいか、どんな業界かは決まらなかったがこの先少しでもこの理想に近づけるように気を付けながら生活しようと思った。私には講師の先生が以前掲げていた理想の自分というリストにすでに当てはまっているように感じたため先生はなりたい自分のために努力をしたことが伝わってくる。

2年

好きなことがゲーム、野球、アニメ鑑賞と、誰かが作ったコンテンツを娯楽として消化することしかしていない。将来どんな仕事をしていきたいとか、そもそも自分主体で行動したことが無い。小中高と続けてきた野球も高校からは地道な練習が面倒臭いと逃げ、勉強も中学に入ってから一切勉強をしなくなったりと、例え趣味であっても少しでもめんどくさいと思ったことから逃げてきて今に至る。知夏さんは私とは対照的で、ダンスから始まって色々な道が出てきてひとつに絞れないと仰っていたが、どの道にも真剣に向き合ってどの夢にも真っ直ぐな姿勢でいた結果であった。今からでも知夏さんのように真っ直ぐな人間になりたいと思った。そのためにも自分が何をしたいか、自分探しから始めようと思う。

2年

私は今回の講義を聞いて、自分の興味のあることに沢山触れることが大切だと感じた。以前もマインドマップを書いたことがあったが、知夏さんの仰っていた通り、大まかな部分は変わってなくて、いつまでも自分が楽しいと思うことや挑戦してみたいことは変わらないことが分かった。一方で、それをまだ実現出来ていない状況であることも分かった。人生は1度きりなので、後悔のないように自分のしたいことを恐れず挑戦できるようになりたい。また、私はまだ将来何になりたいかはっきり定まっていなくてずっと悩んでいるが、自分が楽しいと思えることを仕事にしたいと思っている。進んだ道は国際関係で、実は全く別のファッションに興味があり、この2つを紐づけることは難しいと思っていたが、外国からトレンドを取り入れたりして、経験を無駄にしないようにしたい。深く考えすぎず、就活を楽しみたいと思った。

2年

今回外部の方の講演を聞き、自分の将来を改めて考えるととても良い機会になりました。特に知夏さんのお話では、さまざまなことにチャレンジをし、世界に羽ばたいているという姿を聞いて、そろそろ二年生も終わり自分の卒業後のことを考えなければと焦りを感じた。私自身も知夏さんのように海外に興味があり、旅行に行くことも、できれば仕事にしたいとも考えている。しかし、海外に行きたいと口で言っているだけで全く行動をすることができていない。知夏さんはミスコンに出たり、NPOに所属したりと自分から視野を広げていた。また、自分を知るチャートもやったが、自分を表現する単語を出すのにかなり悩み時間がかかった。これは自分のことをまだ理解、分析できていないということになる。これからの時間、まずは自分を理解するこ

とに時間を費やしたいと考える。そこから、海外にも旅行に行き新しい発見新しい体験を試してみたり、三年次にある多文化インターシップに参加してみたりとより具体的に行動したいと考えた。

2年

今回の講義を受けて、自分がどのような人でどのような人物になりたいかなどをしっかり理解しはつきりさせていくことが大切だと思った。なぜこのように思ったかという、自分はどんな人か表す際に、初めは何一つ出てこずやっとなってきたものが優柔不断というマイナスなところしか出てこなかった。考えていくうちに少しはいいところを見つけ出していくことができた。しかし社会に出て、目立つ個性があるかといわれるとあまりない。そのため今後は、自分が描いた理想の人物像になれるようにどのように生活していくべきかを見直していきたいと思った。また自分のイメージが思いつかなかった際に友達に聞いたら全然思い描いている人物像だったりするので聞いたりするのも大切だと思った。

2年

この講義を聞いて、何か一つにやりたい事を絞らなくても将来なんとかやっていけるかもしれないという希望を持てた気がした。私は、まだ将来についてやりたい事が決まっておらず不安になっていたので、知夏さんの「右往左往しながら何でも屋をしてみたい人物像に近づけた？」という言葉に、まず自分がなりたい人物像を目指せばやりたいことも見付き、そこからつけたいスキルやつきたい仕事が見つかると思い、私になりたい人物像である自立していて、美しいひとを目指そうと考えた。そのためには、内面や外見を磨かなければならない。知夏さんも言っていたロールモデルを見つけようと思った。また、これまで就職には何か資格が必要だと考えていたが、今はその資格が使えなくなっていること、あまり必要がないことなども知ることが出来た。

2年

特別講義を聞いて、点と点は振り返った後にしか繋がらないという言葉がとても印象に残りました。私自身将来何をしたいのか決まっていなく、何をやれば将来役立つのかも分からない状態でした。しかし話を聞いて、自分の興味のあることを今はやるべきだと考えられるようになりなした。私は中国語を勉強していますが、中国語検定に受かるには、中国語を役立たせるにはどうしたら良いかばかり考えていましたが違う

視点から考えられるようになっていたり、もっと話せるようになりたいという気持ちだけで今はいいんだと思えたりしました。講義をしてくださった方もダンスや国際交流など一見違う分野だと感じますが、後々自分のなりたい像に近づけていたことに感激しました。私も私がなりたい理想の自分になれるように様々な興味のあることに挑戦してみたいと思いました。

2年

今回の「心躍る生き方を考える」の講義の特別講師の方によるお話の中で印象に残った話はいくつかありました。まず、一つ目に、「問題よりも先に良いところにスポットライトを当てて、相手のことも自分のことも誇りに思える関係を作る」というお話です。これは、ポジティブに物事を考え、長所を伸ばしていくために大切だと思いました。スティーブ・ジョブズのスピーチの引用の中の「Connecting dot」という言葉が印象に残りました。これは、「将来を見据えて点を結びつけることはできなく、後で振り返ってみたときにしか結びつけることはできない。だから、点と点が将来結びつくことを信じなければならない。」という意味です。ここからは、己の信念を貫く大切さや自分を信じてチャレンジすることの大切さが感じられました。全体を通して、やりたいことを見つけるためには自分を信じてチャレンジすることが必要であることが感じられ、非常に良い講義だったと思いました。

2年

今回の特別講義の中で1番記憶に残っているものが、スタンフォード大学の卒業式でのスティーブ・ジョブズ氏のスピーチ動画の視聴であった。「connect dot」という言葉は、過去に色々な背景を持つスティーブ・ジョブズ氏が言うからこそ、胸に刺さるものがあり、自分自身も今を頑張ろうと言う気持ちになった。また、授業の最初に行った自分自身についての地図を書くというのもとても面白いと思った。自分がどう言った人間で何に対して興味があるのかなど自分のことであるのに不透明であったことが明確になり自己分析にも繋げることができた。

2年

マインドマップは存在自体は知っていたけど、自分でやってみるのは初めてだった。私の場合は自分から一本線で伸びるのではなく、たくさん派生した。しかし、先生のマインドマップは、はっきり二極化されていて今の活動の軸となるものが見えるなど思った。また、先生の生き方は自分のやりたいことを考えるだけでなく、実現させて

色々やられているのですごいなと思った。そして、私も国際関係に興味があるので、国際的な活動も一つではなくたくさんされていて、国際的な活動と言ってもいろいろな形があると知れた。また、現在就職先に悩んでいるので、マインドマップなどを活用して自己分析し、何が自分にとって良い選択なのか考えるための参考になった。

2年

今回の講義を受けての感想は、まず自分の夢を明確にしてみても、そこへのアプローチの仕方を学んだ。今回の講義の前半で自分の好きなことを図で書いていく時間があったが、そこで出たものが私の図は色々な方向に伸びていったので、私はこれからそれらを一つずつ整理して、これからの就活などに絡めていきたいと感じた。また、講義の後半ではスティーブ・ジョブズのコネクティングドッツの動画を見た。そこでは、今やっていることが将来につながるかは分からないが、将来振り返った時にそこから学んだことなどが点と線でつながる時が必ずあると言っており、私もスティーブ・ジョブズのようにチャンスを逃さずに生きていきたい。

2年

今回特別講義を受けて、学生のうちにできること、興味のあることは積極的に行っていこうと思った。知夏さんのお話の中で、自分の興味のあることや好きなことを追求して仕事などに生かしている過程が特に印象的で、今は私自身将来像が明確に見えてはいないが、自分の興味があることに力を注げばそれがいつか自分の強みになると強く感じた。また、今回マインドマップや自分を表す形容詞などを紙に書きだしてみたことで、自分のことを客観的に見るきっかけになり、より視野を広げてみるのも良いということが分かった。来年3年になり就活を本格的に始めるにあたって、今回の学びを生かして行けたらと思う。

2年

自分を形容詞で表すと言ったことを行なった際に自分はマイナスな部分が多かった。例えば、優柔不断な、気分屋な、大雑把ななど。次になりたい人を形容詞で表すものではプラスの言葉が多く挙がった。挑戦的な、計画的な、裕福ななど。正直になりたいと書いたものに自分はなれるのだろうかと思った。しかしよくよく考えてみると改善できる点が多く見つけることができた。挑戦的なといった部分は、今まで自分が挑戦してこなかった部分に挑戦すること。計画的な部分は、あらかじめ予定を立てて行動すること。といった改善できる点がいくつも挙げられる。現時点で自分に足りていな

い部分を見つけて改善できるようにしたいと思った。そして様々なことに挑戦できる大学生の間に行きたいと思った。また時には自分の勘に頼ることも必要だと感じた。

2年

今回の講義を通し、人を成長させる3つのものとして「本」「旅」「友人」であるという言葉とスティーブ・ジョブズの Connecting dot が印象に残った。自分のやりたいと思ったことにすべて挑戦しており、尊敬と憧れを感じた。多くの人が、収入などお金を重視してしまう中でやり甲斐を重視することは人生を充実させるなかで1番重要であると考えた。講義中に行った自分のなりたい人間像や今の私とはどんな人間なのか、これは普段考える機会があまり無いが人生の分岐点にいる大学生にとって必要なことであると感じた。今回見つけた発見を活かせるよう、自分と向き合って具体的にやりたいことを決めていきたい。

2年

「心踊る生き方を考える」というタイトルのもと講義していただきましたが、知夏さんの人生の歩み方は私には無いまさに心踊るものであった。お話を聞いている限り、常に自分のやりたいことに真っ直ぐ動いているし新しいことに向かっていくことに關して、不安や心配よりも「ワクワク」が大きいように感じた。初めの物流会社就職から世界規模のミスコンへの出場、そして英語を教える立場など様々な経験は本当に大切なんだと思った。知夏さんはとても生き生きしていて活気に溢れていたからだ。私は将来何をしたいかが決まっていない状態で大学を選んだが、海外と関わりをもてたらいいなという漠然とした思いから多文化コミュニケーション学科に入学した。今後、少しでも興味のあることには進んで挑戦しようと思背中を押していただけるような講義だった。

2年

今回の講義では、お話を聞くだけでなく、いくつかアクティビティをした。自分の興味のある物事をマインドマップにして書き表してみたり、自分のなりたい将来像などについて形容詞にして書き表したりといったことをした。私はこの講義で初めてやったものばかりであって難しいものもあったが楽しむことが出来た。マインドマップを書いていることによって、自分が将来何をしたいのかという具体的な目標を見つめ直したり、そのためにしなければならないことなどを改めて知ることが出来た。ま

た、形容詞で今の自分のことや自分のなりたい将来像を改めて見つめ直すことが出来た。

2年

今回の特別講義では、キャリアに関わる「自分がどんな人になりたいか」について考えて授業を受けました。最初は海外留学の意義や将来目標などが語られました。見聞を広げる、生涯の仲間を作るなど、単に就活の重要性や留学による優位さを語るのではない人生設計に考えさせるものがあります。その後、外部講師の話で将来どうしていくべきかを話されていました。マインドマップや自分を表す形容詞を書き、自分の考え、好きなこと、なりたい人などの要素を認識していく時間がありました。重要なことは、具体的なアウトラインや資格、就活対策というよりも、自分が何をやりたいか、更にどんな人になりたいかを心に刻むことだということでした。私も他人や世間にとって必要なことを完全に自分に当てはめるのではなく、自分の指針を見直さなければならないと感じました。それを持つための学業であるとも考えました。

2年

今回は特別講義として、外部講師である知夏七未先生を主にお話をして頂いた。知夏先生は、海外経験が豊富であり、ミスコン世界大会やダンスのパフォーマンスなどを行ってきていた方だ。私も今年度の前期、5ヶ月間マレーシアへ留学し、様々な事を学んだと同時に、日本では出来ない経験が出来たと感じる。そのため、知夏先生の講義はとても興味深いものとなった。講義の前半にあった、自分を中心に「自分とは」を書き出すという作業があった。普段はあまり考えない自分の事であるが、いざ書いてみると1つから派生して沢山書き出すことが出来た。このことで、自分の事を改めて知ることができたと感じた。また自分はどのような人と言えるのか、形容詞で書き出すという作業もあった。3~5個以上という指定があったが、なかなか難しかった。友達などに聞いてみると自分の予想外な回答があったり、自分は周りからどのようにみられているのかなど知ることができる機会となった。これらの今回の講義を通して、知夏先生から自分のやりたいことはなんでも挑戦してみるということ学んだ。学生の間は挑戦できる機会がたくさんあると考えるので、思いついたら行動することを私も実践しようと感じた。

2年

将来には自分の人生に何が起こるか、結局には自分が何になれるか、誰にも絶対分かるはずはないから、今はできるだけ自分の直観を信じてできることをやり、やりたいことをやってみれば、将来に役に立つかもしれないというのは確かにそうだと思う。私もそれを信じている。高校時代になんとなく日本語を勉強してみたいという理由だけで、日本語のクラスに入った。しかし、日本に留学するまではぜんぜん考えなかった。それでも、結局、今は日本に留学している。だから、自分の将来はどのような道に歩くのかまだはっきりわからないので、今はやりたいことをできるだけやった方がいいのではないかと思う。

2年

「心に踊る生き方を考える」ということで、ただ生き延びるためではなく、真に充実した人生を生きようとする姿勢が、講演全体から感じられた。自分自身と向き合い、本当の幸せとは何かを考える機会を与えてくれた。忙しい毎日の中で、心の中に踊る憧れを見つけ、その憧れに従って生きることが、本当の充実と幸せをもたらすのかもしれない。今の自分を知り、なりたい自分を明確にし、日々の小さな幸せや喜びを見つけるために行動することは、人生に新たな輝きを与えてくれる。自分の人生をより有意義に、より輝かせるために、今後どのような一歩を踏み出すべきか、真剣に考えたい。

「旅に行くにしろ、本を読むにしろ、体か魂のどこからかは、旅の途中にある」という言葉が好きですから、木村さんが言った成長させる3つのものに強く共感した。チベットに行ったことはありませんが、四川省の西部を旅行した際に、チベット族の純粹な信仰を目にした。その体験から、異なる文化や信念に触れることが、心の成長や理解を促すことを実感した。

知夏さんのスピーチも私に深い感銘を与えた。自分の興味や関心のある分野、自分自身のあり方や将来の姿、そして明日やりたいことについて考えることは、これまであまり行ってなかった。しかし、スピーチを聞きながら自分の内省を深め、紙に書き出していく過程で、自分自身がこれらの問いに対する答えを発見し始めたことに気づいた。自己理解が人生の方向性を見出し、進むべき道を明確にする上ですごく重要であると考える。

今日の授業で、知夏先生は私たちに紙に自分に関する情報を書かせて、私に深い感銘を与えた。その後、先生は私たちに今の自分になりたい人を形容詞で表現させてくれた。これは私に自分に対してもっと深い認識を持たせるだけでなく、私にも自分の目標をもっと明確にさせた。先生の個人的な話もたくさん聞かせてくれて、いろんなことを教えてもらった。

そして、木村先生は講演の最初から留学が一人一人にとって重要な意義を強調していた。これは留学中の私にもっと自分を固めさせた。また、本をたくさん読んだり、旅行をしたりすることで、視野を広げることができる。生活の中で、私たちは往々にして外部の評価に左右され、それによって自分を困惑させる。だから、私たちはまず自分が何を望んでいるのか、何を望んでいるのか、人生の各段階のために目標を立てた後、自分を固め、目標を達成するために努力すべきだと思う。

自分の将来について不安が募っていたため、何から始めて、自己分析をしていくことが大切であると改めてわかった。さらに、自分が興味があることを広げていくことで自分に付いて知ることができ、自分とはという形で形容詞として繋げたり、なりたい自分、やりたいことを箇条書きにまとめることでそれを叶えられるような働きが出来る企業なども調べることが出来るのではないかと思った。講師の方のようにダンス留学だけのみちではなく、様々な道があるので自分なりに自己分析をして企業調べなどをやっていきたいと思い、インターンや資格取得など今からできることをコツコツと行っていきたいと思った。そして人生は長いので自分らしく楽しんで過ごしていきたいと思った。